

第5回北海道感染症危機管理対策本部会議 議事録

日時：令和2年2月19日（水）18:30～18:45

場所：テレビ会議室

【副本部長（中野副知事）】

- これより、「北海道感染症危機管理対策本部」の第5回本部員会議を開催いたします。
まず、保健福祉部長より、報告をお願いいたします。

【保健福祉部長】

- 本日、道内におきまして、3例目、4例目となります新型コロナウイルス感染症の患者が確認されましたので、この情報を中心にご説明を申し上げたいと思います。
- まず始めに、資料1の1ページをご覧いただきたいと思います。1の（1）「道内の発生状況」についてであります。太枠で囲んでおります箇所がこの度の事例になります。
なお、14日にご報告をいたしました2例目の患者につきましては、現在も入院治療中でありまして、濃厚接触者などにつきましては、43名を特定し、健康観察中でありまして、引き続き調査中でありまして。
- この度の3例目、4例目の事例の詳細につきましては、後ほどご説明をさせていただきたいと思っております。
- 続きまして、1の（2）の「国内の発生状況」をご覧ください。
下線を引いている部分が、第4回本部会議から更新をいたしました箇所でございます。
2月18日までに確認されております患者は59名で、このほかに14名の無症状病原体保有者が確認されております。
また、同日現在、クルーズ船に対する検疫により、542名につきまして陽性が確認されております。
- 続いて2の「国の対応」についてであります。
まず、（9）でございますが、2月15日に都道府県に対し「帰国者・接触者相談センター」及び外来の更なる充実について依頼がございました。
- 次に（10）ですが、2月17日に都道府県、保健所設置市などに対し、感染症に関する行政検査の対象者を取りまとめた旨の通知がございました。
- また、（11）でございますが、同日、新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安について、通知がありました。
- また、（12）でございますが、18日、無症状病原体保有者の退院及び就業制限の取扱いの変更がなされております。
- 最後に、2ページ目でございますが、「道の対応」についてでございますが、第4回本部会議

を14日に開催した旨を記載しております。
以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

- では続きまして、新型コロナウイルス感染症の発生に関しまして、本日発表のありました2件の事例、そのうちまず道内での発生3例目となる事案について、札幌市保健福祉局感染症担当部長から報告をお願いいたします。

【札幌市保健福祉局感染症担当部長】

- 資料の2をご覧ください。新型コロナウイルスに関連しました患者の発生につきまして、ご報告させていただきます。
- 昨日、道内3例目となる新型コロナウイルス感染者が札幌市内で確認され、本日、感染症指定医療機関であります市立札幌病院に入院となりましたので、ご報告させていただきます。
- 詳細はお手元に配付させていただきました資料のとおりでございます。
- 患者は40代、男性、市内に単身赴任中の会社員の方です。
- 今月8日に倦怠感や筋肉痛、12日に発熱や咳が出現し、翌13日に市内の医療機関を受診しております。
- 治療後も症状が治まらなかったために、15日と17日に同じ医療機関を再診したところ、17日に胸部CTで両側の肺炎が認められたために、18日に札幌市衛生研究所にて検査を行った結果、新型コロナウイルスが陽性であることが判明いたしました。
- 患者はこの間、自宅待機をし、本日、感染症指定医療機関である市立札幌病院の感染症病棟に入院となりました。
- 現段階で把握しているのは以上のことでありまして、濃厚接触者などにつきましては、今後、調査を行っていくこととなります。
以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

- 続きまして、道内4例目となる状況につきまして、保健福祉部長から報告をお願いいたします。

【保健福祉部長】

- お手元の資料の4ページ、資料3をご覧ください。
この患者さんは渡島総合振興局管内の方であり、本日、道立衛生研究所で陽性が確認をされました。
すでに同管内の感染症指定医療機関に入院、治療を受けております。

- 次に、患者の概要についてですが、年代は60代、性別は男性、日本国籍の方でございます。
- また、居住地は渡島総合振興局管内でございます。
- 職業につきましては、ご本人が非公表を希望しておりますので、差し控えます。
- また、症状と経過でございますが、2月3日に微熱、咽頭痛、また、2月7日に渡島総合振興局管内の医療機関Aを受診されております。
13日に同医療機関Aを再診し、発熱が37℃台ということでございました。
胸部X線で両側の肺炎が見られたとのことでございます。
- このため、18日に同管内の感染症指定医療機関に入院をし、2月19日に道立衛生研究所において、検査を実施しました結果、陽性と判明いたしました。
- 患者の状態といたしましては、発熱もなく良好とお聞きしております。
- 行動歴そして滞在歴につきましては、ご本人からの申告によりますと、海外渡航歴はないとのことでございます。
今後、行動歴及び濃厚接触者につきましては、さらに調査を進めていくという状況にあります。
- 所管保健所におきまして、行動歴そして濃厚接触者の把握を含めた積極的な疫学調査も行ってまいります。
- なお、道内2例目、そして3例目につきましては、今後、札幌市におきまして皆様方にも情報提供させていただくということになります。
以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

- それでは、続きまして新型コロナウイルス感染症に関しまして、各部で捉えている対応などありましたらこの際ですので、発表をお願いいたします。
何かございますでしょうか。
それでは、まず、教育長お願いします。

【教育長】

- 道教委でございます。道教委の方では、17日に厚労省のホームページで公表されました「新型コロナウイルスを防ぐには」このリーフレットを本日付けで各教育委員会、学校の方に送付をして、全児童生徒等に行き渡るように手配をしたところであります。
この中で1番重要な点は、発熱等風邪の症状があった場合には、学校を休んでいただきたいということを保護者の方々にもお伝えするという形で、学校における感染予防の徹底ということを図っていこうと考えております。
- あわせて、これからの時期、学校では、卒業式シーズンになります。

高校が概ね3月1日、小中学校が3月8日以降、随時15日の週位まで続きます。

この卒業式に関しては、文科省の通知もありまして、基本的には感染症対策をしっかりやったうえで、人生における大事なイベントでもありますことから、卒業式については、これからまた変わるようであれば、その都度対応を変更しますが、今のままの状態であれば、できれば、そのまま卒業式は行っていただきたいというようなことで、これももう少し各関係機関と調整のうえ、21日、週末位には、その辺を決定していきたいと考えております。

- もう一点が、公立学校の入学試験が3月4日に予定しております。

これにつきましても、風邪の場合には学校を休むようにということとの整合を考えたときに、風邪の症状のある生徒さんについては、別室で受験していただくような体制を、今検討しております。

- それから、万一、感染をしたということが明らかになった生徒さんの対応については、特例的な受験の方法について、これも検討しているところであります。

いずれにしても、3月4日の試験が無事に終わるように、万全の体制で、札幌市、札幌市教育委員会とも一緒に相談しながら対応を進めて、21日位には一定の方向性を出して、きちっとみなさんに通知するという考えでおります。

私の方から以上です。

【副本部長（中野副知事）】

- 他に何か関係部局からありますでしょうか。よろしいですか。

先ほど、保健福祉部長からも報告がありましたとおり、国の対応も日々進化してきておりますので、各部におかれましては、国の動向を迅速に掴んだうえで、適切に速やかな対応を講じていただきたいと思います。

また、その様な状況について、追って取りまとめをまたさせていただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

それでは、本部長から指示をお願いいたします。

【本部長（知事）】

- 新型コロナウイルス感染症について、14日に道内で2例目、道内在住としては初めての感染が確認をされたところでありますが、さらに、本日、札幌市と渡島管内において、それぞれ1名、計2名の感染を確認したところでございます。

- この3例目、4例目についても、2例目と同様に、現時点では感染経路が特定をされていないということでございまして、現在、引き続き、疫学調査を行っているところでございます。

- 関係保健所等においては、ご本人の行動歴や濃厚接触者等について、医療機関や関係者のご協力を得ながら、詳細な調査を行いまして、感染拡大の防止に万全を期していただきますようお願いをいたします。

- また、道民の皆様の不安解消のために、引き続き、保健所等における相談窓口において、様々なお問い合わせをいただいておりますけれども、お問い合わせに対して、丁寧にご対応いた

くとともに、2月17日、国から新型コロナウイルス感染症についての相談や受診の目安が公表されたところでもありますので、こうした内容についても、道民の皆様に対して、しっかりと周知をし、症状のある方を適切に医療機関につなぐように、きめ細やかな相談対応、受診調整を行っていただくようお願いをいたします。

- 感染症予防やまん延防止のためには、まず、咳エチケットや手洗い、施設の消毒などをより一層徹底し、道民の皆様が適切に対応を行うことが重要であるということを、繰り返し申し上げてきたところでございますけれども、今後とも、全庁一丸となって、各部の所管する関係事業所等への情報発信を迅速かつ的確に行うなど、道民の皆様、そして北海道を訪れる皆様の安全、安心に万全を尽くし、感染症予防対策を進めていただくようお願いいたします。
- なお、2例目、3例目については札幌市において公表していただくということとなった訳でございますけれども、引き続き、北海道と札幌市がしっかりと連携をして取組を進めていただくよう、特に意識をして、取り組んでいただきますようお願いをいたします。
- 今後、様々状況などが動いていくことも想定されます。各部において、引き続き気づいた点についても積極的に、こちらの方に挙げていただきたい。私の方にも挙げていただきたいというふうに思います。よろしく申し上げます。

【副本部長（中野副知事）】

- それでは、各部においては、引き続き、万全の対策を進めていただくようお願いいたします。以上をもちまして、「感染症危機管理対策本部会議」第5回本部員会議を終了します。